



職員とボランティアのみなさん

職員とボランティアのみなさん  
と白い部分が  
出ているの  
で、その部分  
に色を塗って  
いきます。こ  
こでも子ども  
たちの自由さ  
に思わずハッ  
とさせられま  
した。花は決  
して一色では

一生懸命塗ってく  
れていますが、いつ  
の間にか手から腕ま  
でペンキだらけ。白  
い手すり部分にも黄  
緑色の手形がちらほ  
ら。いたずらな笑顔  
がこぼれます。  
次はお花などのペ  
イントを行いますし  
た。元々貼ってあっ  
たお花の形のマスク  
ングテープを剥がす  
と白い部分が  
出ているの  
で、その部分  
に色を塗って  
いきます。こ  
こでも子ども  
たちの自由さ  
に思わずハッ  
とさせられま  
した。花は決  
して一色では

（耳原総合病院  
HPH運営会議  
事務局）

### コラボ企画第二弾!!

## 子ども無料塾× ホスピタルアート



10月21日に、子ども無  
料塾とホスピタルアート  
のコラボ企画第二弾を行  
いました。

今回の企画は、前回雨  
で実行できなかった総合  
病院3階リハビリテーシ  
ョン室横にある庭園の壁  
画です。子どもたち6  
人、ボランティアの方  
（大阪公立大学学生、武  
庫川女子大学学生、三國  
丘高校学生など）6人、  
職員10人（医師、アート  
セクション、理学療法  
士、作業療法士、事務）  
の参加でした。

まずは下地となる黄緑  
色を壁全面に塗りまし  
た。大きなところはペ  
イントローラーで塗り、細  
かい部分は刷毛を使いま  
す。これがなかなか大変  
な作業です。子どもたち  
も最初はローラーを使い



ないし、茎も緑色  
である必要はない  
のです。とてもカラフル  
で可愛い花や蝶々がたく  
さん描かれました。さら  
に、白い部分ではないと  
ころにもどんだんペン  
トが増えています。み  
んな本当に楽しそうに描  
いてくれていました。そ  
んな姿をみて、大人にな  
ると型にはめられた考え  
になってしまふものだと  
しみじみと感じました。  
風が強く、天候は良好  
ではありませんでした  
が、トラブルもなく無事  
に終えることができました  
。殺風景だった庭園が  
とつとも明るくなり、リ  
ハビリテーションで庭園  
を利用する患者さんもき  
つと喜んでくれるだろう  
と思います。リハビリス  
タッフのモチベーション  
も上がること間違いあり  
ません。参加していただ  
いたみなさん本当にあり  
がとうございました。



私たちの過酷な現状を見える形にして、世論に訴えよう！

# いのちまもる 総行動に3100人



また全国の  
開業医などで  
つくる全国保  
険医団体連合  
会の医師から  
は、保険証の  
廃止問題を言  
及、「マイナ  
ンバーの押し  
付けで、寝た  
きりの方は置

**「研修医育成」に  
皆さまの「声」を**

右のQRコードからアンケート  
へのご協力をお願いします。  
(耳原総合病院研修委員会)

気持ちのいい秋晴れの  
10月19日、東京・日比谷  
野外音楽堂では、「医療  
・介護・福祉に国の予算  
を増やせ！ いのちまも  
る 10・19総行動」が行  
われ、会場・オンライン  
合わせて、約3100人  
が集まり、同仁会からも  
共同組織5人を含む25人  
で参加しました。



最初に日本医労連の佐  
々木悦子委員長が「岸田  
政権の医療・介護規制緩  
和策は許せない！ いっ  
しょにいのちと人権を守  
る政治の転換を求めよ  
う」と訴えました。  
リレートークでは、最  
初に群馬の保育士さん  
が、「12年目で手取り18  
万円。子育てしながら働

き去りになる。現行の保  
険証を守り、安全安心の  
医療をつくるため、みん  
なで声をあげよう」と呼  
びかけました。  
集会後は、参加者が元  
気に日比谷から銀座、東  
京駅まで歩き、賃金の太  
幅引き上げ、戦争する国  
づくり反対の声をあげま  
した。初めて参加した職  
員は、「みなさんのすべ  
い熱気を感じました」と  
話し、声をあげる運動の  
大切さを実感しました。  
私たちのいのちと暮ら  
しを守るためには、軍事  
費倍増ではなく、診療報  
酬、介護報酬の増額、保  
育現場では補助金を増や  
し、いのちを大切するた  
めへの政治の転換が求め  
られます。そのために  
も、私たちの現状や思い  
を「可視化」することが  
大切だと改めて感じる集  
会となりました。  
(医師事務支援課  
横山 健)